

昭和 地域ニュース

No. 55

令和7年(2025年)

1月号

発行 中野区昭和区民活動センター運営委員会
編集 広報部会 昭和地域ニュース編集会議
〒164-0001 中野区中野 5-4-7
TEL: 03-3385-1271
FAX: 03-3385-1272
E-mail: nakano_showa@nifty.com
http://www.nakano-showa.gr.jp/



センターのアイドル
旧昭和区民活動センターの時に、ご近所の方からいただいたゴムの木とコダカラソウ。一緒に中野5丁目に引っ越してきました。センター4階のロビーで、日差しを浴びて、元気に生長しています。
※「我が家のアイドル」募集中です。

榮寿司とふれあいロード北商店会の物語

今回は、長くふれあいロードで榮寿司を経営していた中村榮さんに、お店の様子や中野ふれあいロード北商店会のことを伺いました。中村さんは肌艶の良さやよどみない語り口など、とても若々しく元気な方です。

■開業まで

編集部: 中村さんは、長くふれあいロードで榮寿司を営んでいらっしゃいましたが、中野区のご出身ですか。

中村: 私は1939年12月12日、長野県更級郡(さらしなぐん)上山田町の生まれです。現在の千曲市です。戸倉上山田温泉で有名な所です。1954年3月、中学校卒業の3日後に上京し、和菓子と寿司の店で修業しました。今はありませんが、宮内庁御用達の有名なお店でした。園遊会で、ジンギスカンを焼く係を担当させてもらったのは、いい思い出です。

編集部: 84歳とは思えません。中野にはいついらしたんですか。

中村: 30歳頃には独立しようと思っていたので、良い所がないか東京中を探し回りました。中野駅北口で駅から遠くなく、手頃なこの場所を見つけ、1970年に開店しました。

編集部: 開店当時の榮寿司は、どんな様子でしたか。

中村: その頃はコンビニはないし、朝早くから夜までやっている店もなかったの、とても繁盛しました。持ち帰りがメインだったのですが、朝も夜も海苔巻きなどがどんどん売れましたね。

私は朝4時から築地に仕入れに行き、午前10時に開店し午後10時までやっていました。アルバイトも3人雇ってました。寿司の酢はナマで使わないようにしていました。砂糖や塩をブレンドし、地下で寝かしてから使うんです。その酢がとても評判でした。1985年には店をビルに建替えました。

■商店街の様子

編集部: 今、この辺りは居酒屋などの飲食店がとても多いですが、開店された頃はどんなお店がありましたか。

中村: 物品販売店が多かったです。八百屋、魚屋、肉屋、呉服屋、ブティック、薬屋、パン屋、本屋、ラーメン屋など。うちの隣は畳屋、洋服屋でした。飲食店はそんなに多くなかったですね。当時から人通りが大変多く、止まって立ち話ができないくらい賑やかでした。

編集部: 商店会の会長もなさったと聞きましたが、いつ頃ですか。

中村: 1986年から1997年まで、6期12年間会長を務めました。この通りは新井薬師への参道だったので、以前は浅草にあやかって「仲見世通り」と言っていました。商店会の名前は「中野北口仲見世商店会」でした。その頃、屋根に春はサクラ、秋はモミジの造花を付けていました。私が会長になった後、1988年に道路をカラー舗装し、街路灯も設置しイメージアップしました。名称を変更することになり、公募で決まったのが「ふれあいロード」です。

その頃、中野通りのサクラは白線通り入り口を西に行った所より北にはありましたが、駅までの間はトウカエデでした。そこで中野北口の商店会の皆さんと協力して署名を集め、東京都第三建設事務所に交渉し、1990年から1992年の間にトウカエデをサクラに植え替えました。道路のカラー舗装とサクラの植樹が、会長時代の大きな仕事でした。

編集部: そのおかげで、中野通りがサクラの名所になったんですね。一つの通りに中野ふれあいロード北商店会と中野ふれあいロード商店会の二つの商店会があるのは、どうしてですか。

中村: 中野ふれあいロード北商店会は以前の中野北口仲見世商店会でしたが、新仲見世入口より南の所には商店会はなかったんです。それで新たに商店会が作られた時、ふれあいロード商店会という名称になりました。

■中野駅周辺の発展

編集部: 榮寿司を開店した頃は、まだサンプラザはなかったんでしょうか。

中村: サンプラザの開業は1973年でした。北側が住宅街だったので、三角形になりました。当時の労働省所管の雇用促進事業団が建設し、正式名称「全国勤労青少年会館」でした。オープンには、当時の総理大臣故田中角栄氏も来たのが印象的でした。その頃から、中野駅周辺の大発展が始まりました。

編集部: 今お話を伺っている中村さんの事務所には、たくさんの写真が飾られていて、中村さんの趣味の広さがわかりますが、どんな趣味がありますか。

中村: 趣味は、車・馬・ゴルフですね。車は大好きで、いろいろ乗ってきました。乗馬も好きでした。仕事をしている頃、休日にはよく埼玉県の牧場へ通ったものです。今はゴルフですね。ゴルフ仲間の送り迎えもしています。

■中野と共に

編集部: 開業場所を中野にして良かったと思えますか。

中村: 良かったですよ。中野の発展と共に歩んできて、充実していました。周りの方々はいい人ばかりでした。バブルの頃には地上げ屋が来ましたが、ここで最期を迎えたいと思っていましたので移転する気にはなりません。1軒だけ反対するのは嫌だから、そうになったら考えようと思っていましたが、そこまでは行きませんでした。

商店は移り変わり、今はテナントが多くなりました。

編集部: 閉店されたのはいつですか。

中村: 閉店したのは、2018年12月末でした。元気なうちに辞めようと思っていたからです。閉店の日には20kgのお米を炊くくらい多くのお客さんが詰めかけてくれて、名残りを惜しんでくれました。新型コロナウイルス感染症が流行る前だったので、いい時期に閉店したと思います。

編集部: 中野の発展と共に歩んできた中村さんの貴重なお話を伺うことができました。ありがとうございました。



中村榮さん



榮寿司入り口